

第 22 回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

研究代表者 小林宏寿（帝京大学医学部附属溝口病院外科）
日時 第 96 回大腸癌研究会・2022 年 1 月 20 日（木） 13 時 15 分～14 時 15 分
場所 浜松町コンベンションホール 5F メインホール+Web

参加者 福田（久留米），前田，佐藤（藤田），小川（女子医），望月，長谷，梶原，田代（防衛），小森（愛知がん），室野（東大），庄，小山（奈良），石田（埼玉医大医療セ），川崎（ベルランド），浅古（帝京），岩田（医科歯科），森谷（国がん），小澤（栃木がん），清松（国際医療セ），能浦（市立豊中），西村（聖マリ東横），山口，高雄，小野（駒込），肥田，岡村，吉田（京大），問山（三重），幸田（帝京ちば），中山（名古屋），別府（兵庫），鏡（東邦大森），森川（福井），固武（佐野市民），小林（帝京溝口）。

順不同・敬称略

議題 1 前回会議議事録案の承認

- ・前回議事録が承認された。

議題 2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

- ・今後の発表・論文化について

予後情報なし

1) ベルランド（登録数 1 位）：PCI と日本の大腸癌腹膜播種分類ならびに原発巣占拠部位との相関

→Kawasaki M et al. J Anus Rectum Colon4(4);157-164, 2020

2) 国がん（登録数 2 位）：R0 切除を行い得る症例はどのような症例か

→Shida D et al. Int J Clin Oncol 25(2); 330-337, 2020

予後情報あり

3) 事務局:PCI と日本の播種分類との予後分別能(新しい分類と Grading の提示) に関し解析結果を発表→大きさを加味した検討を追加

4) 防衛医大（登録数 4 位）：腹膜播種症例の予後規定因子解析と Nomogram による予後予測に関し解析結果を発表

5) 藤田医科（登録数第 5 位）：化学療法と播種症例の予後

議題 3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

1785 例が集積され，各施設の登録数が確認された。また，2022 年 12 月で予後追跡が終了し，2023 年 1 月には予後情報の集積を行う旨の周知があった。

予後情報なし

- 1) 藤田医科（登録 1 位）：腹腔洗浄細胞診陽性に関連する因子の検討
→JARC に accept
- 2) ベルランド（登録 3 位）：陰性→陽性に転じた症例に相関する因子の検討
- 3) 愛知がんセンター（登録 5 位）：施設別細胞診陽性率の差に関する検討

2)3)については投稿したが reviewer より予後情報を加えての投稿を推奨され、予後情報が出てからの投稿を委員会で承認.

予後情報あり

- 4) 事務局：細胞診の結果と再発・予後の検討
- 5) 防衛医大（登録 4 位）：腹膜播種再発の予測モデルに関する解析
(Nomogram もしくは Classification And Regression Tree を用いて)

議題 4 腹膜播種の retrospective study (症例集積研究) の集計解析結果について

- ・積極的な利活用を各委員に依頼した.

腹膜播種の前向き研究については、予後情報を加味し各施設で解析を進めていただき、現在予定されている 3) ~5) 以外に論文化の希望があれば検討していくことが確認された。また、論文化の希望が寄せられない場合、登録数が多い施設に順に尋ねていくことも考慮することとなった。

(文責：小林宏寿)